

2025年3月期（2024年度）中間連結決算について

1. 2024年度中間連結決算 … 前年同期から増収増益

航空機発着回数・航空旅客数ともに前年同期と比較し増加が見られ、引き続き、回復傾向にあります。特に、外国人旅客数は上期として初めて1,000万人を超え、最高値を更新しました。国際航空貨物量は、本年4月以降、前年同月を6カ月連続で上回り、好調に推移しています。これらの結果に加え、円安の効果により物販・飲食収入が好調であったこと等から、営業収益は前年同期から278億円増の1,276億円となり、4期連続の増収、コロナ禍前の2019年度同期（1,267億円）を上回り、上期として民営化以降の最高値を更新しました。

営業費用においても売上に連動する費用等の増加がありましたが、引き続きコストマネジメントの徹底に努めた結果、営業利益は前年同期から185億円増の228億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期から158億円増の195億円となりました。

(単位：億円)

科目	中間期（4月1日～9月30日）			
	2023年度	2024年度	増減	
	実績 A	実績 B	金額 B-A	% B/A×100
営業収益	997	1,276	278	127.9
営業費用	954	1,047	93	109.8
営業利益	43	228	185	528.2
経常利益	34	220	185	641.6
親会社株主に帰属する中間純利益	36	195	158	530.8

(注) 決算数値は、端数を切り捨てて表示しています（以下同じ）。

【参考】2024年度中間期航空取扱量実績

区分	中間期（4月1日～9月30日）			
	2023年度	2024年度	増減	
	実績 A	実績 B	数量 B-A	% B/A×100
航空機発着回数（万回）	10.5	12.2	1.6	116.0
国際線	7.9	9.5	1.5	120.0
国内線	2.5	2.6	0.0	103.5
航空旅客数（万人）	1,657	1,992	335	120.2
国際線	1,266	1,601	335	126.5
国内線	390	390	△0	99.9
国際航空貨物量（万ト）	91	97	6	106.5

(注) 航空取扱量は、端数を切り捨てて表示しています（以下同じ）。

2. 2024 年度連結業績予想 … 好調なリテール事業の状況などを踏まえ、当初予測を上方修正

本年 5 月 30 日に発表した今年度の航空取扱量見通しについては、全体としては概ね想定通りに推移しており、当初の航空取扱量見通しは据え置くこととしました。

一方で、当期の通期業績予想については、主にリテール事業において物販・飲食収入、構内営業料収入が上振れている状況等を踏まえ、予想を見直すことといたしました。

以上の結果、当期の通期業績予想は、前期比増収増益となる見通しです。

なお、実際の業績はこれら航空需要など経営環境の変化により大きく異なる結果となる可能性があります。

<業績予想>

(単位：億円)

科目	2023 年度	2024 年度	増減		※参考 2024 年度 当初予想 (5月30日 発表) C	増減	
	実績 A	予想 B	金額 B-A	% B/A×100		金額 B-C	% B/C×100
営業収益	2,169	2,551	381	117.6	2,431	120	104.9
営業費用	2,039	2,271	231	111.4	2,230	41	101.8
営業利益	129	279	149	215.1	200	79	139.5
経常利益	106	262	155	245.2	167	95	156.9
当期純利益※	100	221	120	219.7	121	100	182.6

※親会社株主に帰属する当期純利益

【参考】 前回発表時の航空取扱量見通し

区分	2023 年度	2024 年度	増減	
	実績 A	見通し B	数量 B-A	% B/A×100
航空機発着回数 (万回)	21.9	25.1	3.1	114.2
国際線	16.8	19.7	2.8	116.8
国内線	5.1	5.4	0.2	105.7
航空旅客数 (万人)	3,525	3,990	464	113.2
国際線	2,744	3,210	465	116.9
国内線	781	780	△1	99.9
国際航空貨物量 (万ト)	184	190	5	102.9

3. セグメント別 2024 年度中間連結決算／通期連結業績予想

(1) 2024 年度中間連結決算

(単位：億円)

	中間期 (4月1日～9月30日)			
	2023 年度	2024 年度	増減	
	実績 A	実績 B	金額 B-A	% B/A×100
営業収益 ^{※1}	997	1,276	278	127.9
空港運営事業	418	516	97	123.4
リテール事業	422	598	176	141.8
施設貸付事業	142	147	4	103.1
鉄道事業	14	14	0	100.3
営業費用	954	1,047	93	109.8
営業利益	43	228	185	528.2
空港運営事業	△135	△30	104	-
リテール事業	115	196	80	169.9
施設貸付事業	58	59	0	100.6
鉄道事業	3	3	△0	94.9
経常利益	34	220	185	641.6
中間純利益 ^{※2}	36	195	158	530.8

※1 外部顧客への売上高

※2 親会社株主に帰属する中間純利益

- 空港運営事業： コロナ禍後の正常化に向かう動きに伴い、国際線旅客便発着回数及び国際線旅客数が前年度を大幅に上回ったことから、空港使用料収入は前年同期比 14.4%増の 171 億円、旅客施設使用料収入は前年同期比 41.1%増の 213 億円となり、営業収益は前年同期比 23.4%増の 516 億円、営業損失は前年同期から 104 億円改善の 30 億円となりました。
- リテール事業： 航空旅客数の増加に加え、円安効果もあり、子会社が運営する直営店舗の物販・飲食収入は前年同期比 40.8%増の 459 億円、構内営業料収入は前年同期比 47.5%増の 62 億円となり、営業収益は前年同期比 41.8%増の 598 億円、営業利益は前年同期比 69.9%増の 196 億円となりました。
- 施設貸付事業： 航空旅客数の増加に伴う駐車場使用料収入の増加等から、営業収益は前年同期比 3.1%増の 147 億円、営業利益は前年同期比 0.6%増の 59 億円となりました。
- 鉄道事業： 線路使用料収入等に変化がないことから、営業収益は 14 億円、営業利益は 3 億円と前年同期並みとなりました。

(2) 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2023 年度	2024 年度	増減		※参考 2024 年度 当初予想 (5月30日 発表) C	増減	
	実績 A	予想 B	金額 B-A	% B/A×100		金額 B-C	% B/C×100
営業収益 ^{※1}	2,169	2,551	381	117.6	2,431	120	104.9
空港運営事業	903	1,050	146	116.2	1,040	10	101.0
リテール事業	952	1,173	220	123.1	1,071	102	109.5
施設貸付事業	283	298	14	105.1	289	9	103.1
鉄道事業	29	29	△0	97.1	29	-	100.0
営業費用	2,039	2,271	231	111.4	2,230	41	101.8
営業利益	129	279	149	215.1	200	79	139.5
空港運営事業	△259	△187	72	-	△205	18	-
リテール事業	272	363	90	133.0	316	47	114.9
施設貸付事業	110	97	△13	88.0	84	13	115.5
鉄道事業	7	6	△1	84.6	6	-	100.0
経常利益	106	262	155	245.2	167	95	156.9
当期純利益 ^{※2}	100	221	120	219.7	121	100	182.6

※1 外部顧客への売上高

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

- 空港運営事業： 国際線発着回数及び国際線旅客数が増加していることから空港使用料収入、旅客施設使用料収入が増加することを想定しており、営業収益は146億円の増収となり、営業損失は前期から72億円改善の187億円となる見通しです。
- リテール事業： 国際線旅客数の増加に加え、円安効果もあることから物販・飲食収入等が増加することを想定しており、営業収益は220億円の増収となり、営業利益は前期と比べ90億円増益の363億円となる見通しです。
- 施設貸付事業： 第8貨物ビル供用開始等により営業収益は14億円の増収となる一方、施設の老朽化対策にかかる費用の増加があること等から、営業利益は前期と比べ13億円減益の97億円となる見通しです。
- 鉄道事業： 線路使用料収入等に変化がないことから、営業収益は29億円、営業利益は6億円と前期並みとなる見通しです。

4. 財政状態

(単位：億円)

科目	2023年度 期末	2024年度 中間期末	増減	
	実績 A	実績 B	金額 B-A	% B/A×100
流動資産	3,585	3,488	△96	97.3
固定資産	8,833	9,156	323	103.7
資産合計	12,418	12,645	226	101.8
流動負債	1,161	1,280	119	110.3
固定負債	8,763	8,690	△73	99.2
負債合計	9,924	9,971	46	100.5
純資産合計	2,494	2,674	179	107.2

- ➔ 資産合計は、前期末比 1.8%増の 1 兆 2,645 億円となりました。
- ➔ 負債合計は、前期末比 0.5%増の 9,971 億円となりました。
- ➔ 純資産合計は、前期末比 7.2%増の 2,674 億円。自己資本比率は、前期末 19.4%から 1.1ポイント改善し 20.5%となりました。

<参考：長期債務の推移>

(単位：億円)

科目	2023年度 期末	2024年度 中間期末	増減		平均金利	
	実績 A	実績 B	金額 B-A	% B/A×100	2023年度 期末	2024年度 中間期末
有利子債務	8,660	8,654	△6	99.9	0.50%	0.50%
社債	4,606	4,606	-	100.0	0.43%	0.43%
長期借入金*	4,054	4,048	△6	99.8	0.59%	0.59%
無利子債務	324	424	100	130.9	-	-
長期借入金	324	424	100	130.9	-	-
合計	8,984	9,078	93	101.0		

*財政融資資金の借入残高（4,000 億円）を含む

5. キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

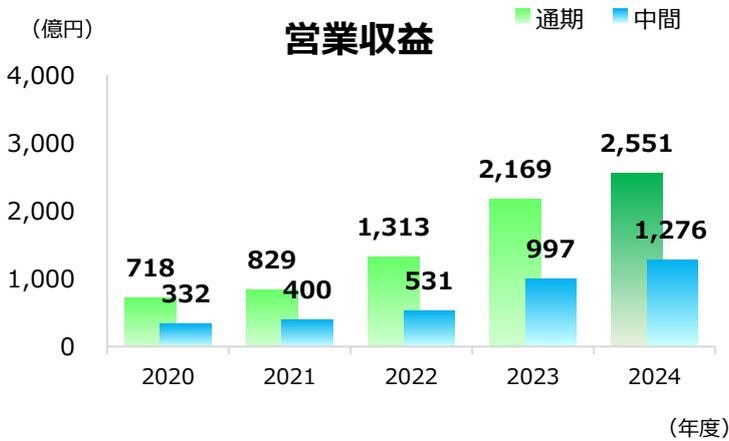
科目	中間期（4月1日～9月30日）		増減
	2023年度	2024年度	金額
	実績	実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	313	307	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367	△210	157
フリー・キャッシュ・フロー	△54	96	150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87	92	179

フリー・キャッシュ・フローは、96 億円のキャッシュ・インとなりました（前年同期比 150 億円の改善）。

- ➔ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が増加したものの、仕入債務や税金費用の支払等により、キャッシュ・インは前年同期比 6 億円減の 307 億円となりました。
- ➔ 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が増加したものの、定期預金の払戻による収入の増加等により、キャッシュ・アウトは前年同期比 157 億円減の 210 億円となりました。
- ➔ 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入等により、前年同期 87 億円のキャッシュ・アウトに対し、92 億円のキャッシュ・インとなりました。

参考

【連結決算推移】 2024 年度通期は予想



<2024 年度中間期>

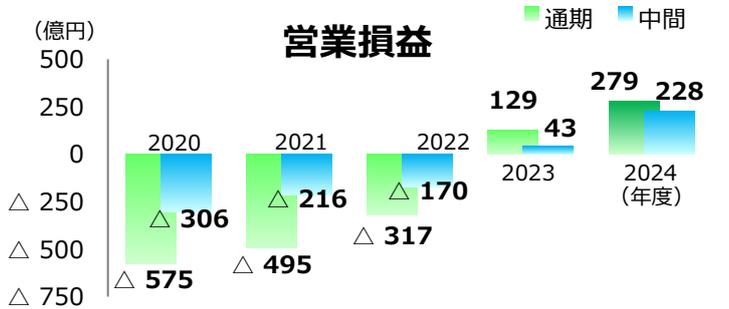
- ・4 期連続の増収となり、民営化以降の最高を更新

<2024 年度通期予想>

- ・4 期連続の増収となり、民営化以降の最高を更新する見通し

[これまでの民営化以降最高]

- ・2018 年度 2,497 億円

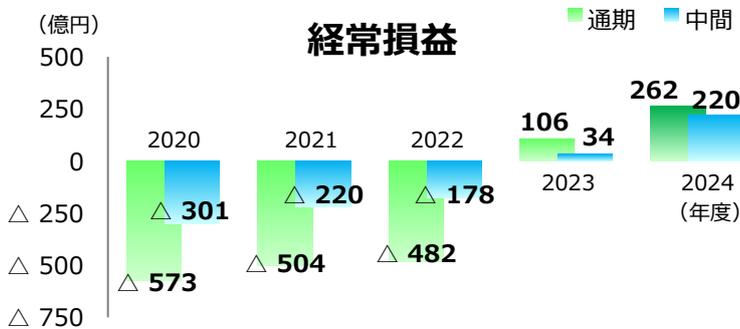


<2024 年度中間期>

- ・昨年度中間期から増益

<2024 年度通期予想>

- ・昨年度から増益となる見通し

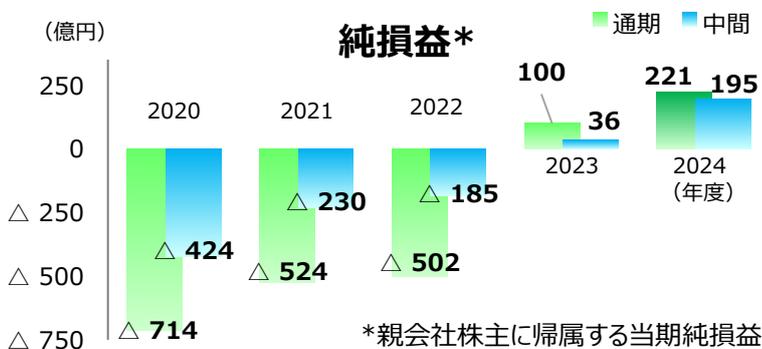


<2024 年度中間期>

- ・昨年度中間期から増益

<2024 年度通期予想>

- ・昨年度から増益となる見通し



<2024 年度中間期>

- ・昨年度中間期から増益

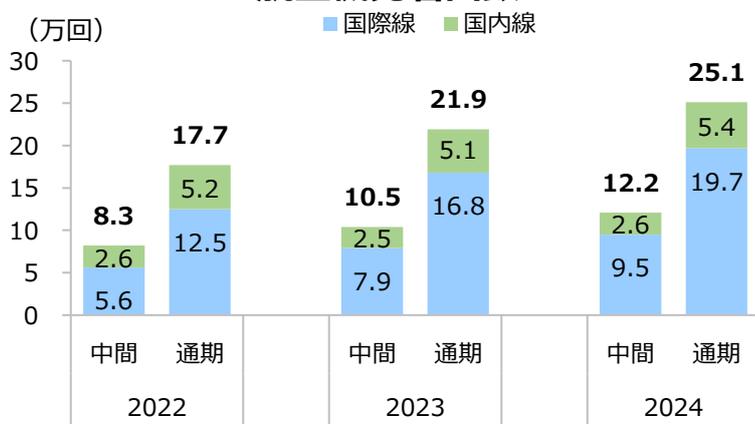
<2024 年度通期予想>

- ・昨年度から増益となる見通し

*親会社株主に帰属する当期純損益

【航空取扱量推移】 2024 年度通期は見通し

航空機発着回数



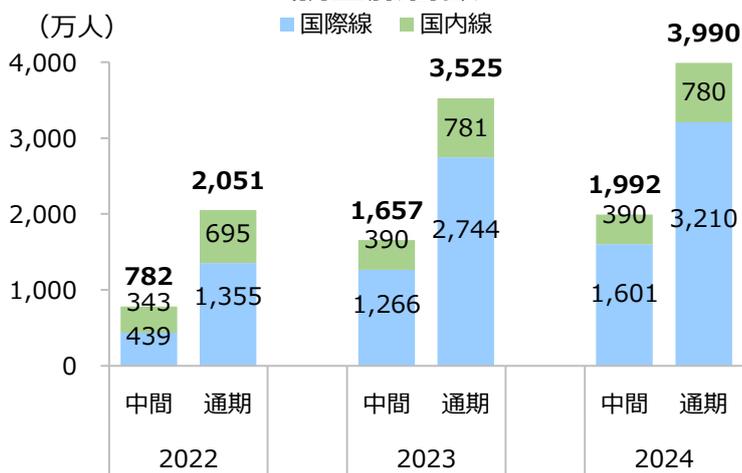
<2024 年度中間期>

- ・全体:4 期連続の増加
- ・国際線: 4 期連続の増加
- ・国内線: 昨年度から増加

<2024 年度通期予想>

- ・全体:4 期連続の増加となる見通し
- ・国際線: 4 期連続の増加となる見通し
- ・国内線: 昨年度から増加となる見通し

航空旅客数



<2024 年度中間期>

- ・全体:4 期連続の増加
- ・国際線: 4 期連続の増加
- ・国内線: 昨年度並み

<2024 年度通期予想>

- ・全体:4 期連続の増加となる見通し
- ・国際線: 4 期連続の増加となる見通し
- ・国内線: 昨年度並みとなる見通し